

令和3年11月17日
(2021年)

保護者の皆さまへ

吹田市立豊津中学校
校長 中西 多恵子

令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・数学に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上や学習習慣の改善につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査結果の分析

●国語

【調査結果より】

設問14問中、平均正答率が全国値を上回っていた設問は10問で、そのうち比較的大きく上回っていたものは2問でした。

【概要】

本校生徒の平均正答率はほとんどの設問において全国値をやや上回っており、良好な結果でした。

【各領域における成果と課題・指導改善のポイント】

話すこと・聞くこと

・ほとんどの設問において正答率が全国値をやや上回っており、良好な結果でした。実社会により良く適応できるよう更なる研鑽が必要です。

書くこと

・「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」という設問において、正答率が全国値をやや上回っており、良好な結果でした。

・「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える」という設問において正答率が全国値をやや下回っており、課題が残りました。

読むこと

- ・ほとんどの設問において正答率が全国値をやや上回っており、良好な結果でした。特に「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」という設問において高い理解度がうかがえました。
- ・「文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもつ」という設問において正答率が全国値をやや下回っており、課題が残りました。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・ほとんどの設問において全国値を上回っており、良好な結果でした。特に「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」と「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」という設問において高い理解度がうかがえました。

【国語科における成果と今後の改善点について】

全体的にどの領域においても概ね正答率が高く、学習の成果が現れています。国語の領域において結果につながりにくいと言われる「読解」において高い理解度を示している生徒も多く、今後の更なる飛躍も期待できます。

一方、記述式で、「文章に表れているものの見方、考え方をとらえて自分の考えを書く」のような設問に対して苦手意識を持っている生徒がいるので、今後の授業で意識的に取り組んでいきます。知識理解において、今回のテスト結果は良好でしたが、文法が苦手な生徒も多く、今後の授業において、折にふれて復習、補強をしていきます。

●数学

【調査結果より】

設問16問中、平均正答率はすべての問題で全国値を上回り、そのうち13問については、比較的大きく上回る結果でした。

【概要】

本校生徒の平均正答率はすべての設問において全国値を上回り、良好な結果でした。

【各領域における成果と課題・指導改善のポイント】

数と式

- ・すべての項目において全国値を上回り、良好な結果でした。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉える問題についてはその他の設問と比較すると正答率が低く課題が残ります。

図形

- ・すべての項目において全国値を上回り、良好な結果でした。
- ・記述式の問題においても全国値を上回り、良好な結果でした。

関数

- ・すべての項目において全国値を上回り良好な結果でした。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題についてはその他の設問と比較すると正答率が低く課題が残ります。

資料

- ・すべての項目において全国値を上回り良好な結果でした。
- ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取る問題においてはその他の設問と比較すると正答率が低く課題が残ります。

【数学科における成果と今後の改善点について】

計算や関数・図形などの各分野で、全国値と比較すると上回っていることから、基本的な内容について、基礎・基本を繰り返し学習している成果が表れています。また、数学的な技能を必要とする問題について、各分野で、難易度の比較的高い問題に対しても正答率の高い問題があり、学習の成果が表れています。

一方で、事象を数学的に解釈し、その方法や理由について表現する問題の正答率が低いことが見られます。基礎・基本を繰り返す学習を継続していきながら、見いだした特徴を数学的に表現できる力をつけていく必要性があります。また、記述式問題の無解答率は、全国と同様の傾向として高くなっています。

様々な問題を解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を増やすとともに、よりよい説明の記述を追求させる場面をつくることが重要であると考えられます。そのために、数学のレポート作成や、ICTを活用し、授業中にすべての生徒が解答する機会を保障し、それに対して適切な助言を行っていきたいと考えます。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【調査結果より】

設問69問中、22問について80%以上の肯定的回答を得ました。また13問について全国値を大きく上回り、10問について、比較的大きく下回りました。

【成果と課題について】

生活環境

朝食はほぼとれていますが、5%弱は否定的回答です。1日に2時間以上ゲームをする割合は全国値をやや下回るものの、半数以上います。

自分自身のこと

物事をやりとげる、困っている人を助ける、いじめはいけない、学校に行くのは楽しい、人の役に立ちたい、友達と協力するのは楽しいと思っている割合は全国値を下回るものはあるものの、比較的高くなっています。

自分にはよいところがある、失敗を恐れない、思っていることを言葉で表すといった点は80%に到達せず、特に将来の夢や目標については全国値を大きく下回っています。

学習環境

約半数が授業以外に毎日2時間以上勉強しており、平日については全国値を大きく上回っています。計画的に学習を行っている割合は60%程度です。塾などに通う割合は50%未満です。

読書活動

授業以外で読書をしない割合は全国を下回ってはいるものの、35%程度います。家に本が100冊以上ある割合は非常に高くなっています。

地域社会

地域社会に貢献する意識については全国と比較して課題があります。

ICT機器

ICT機器が役に立つと答えている割合は85%以上ですが、年度当初のアンケートであったため、使用率は低い値にとどまっています。

話し合い活動・学級活動等

人の話を最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えること、課題解決にむけて自分で考え、主体的に取り組むことについては、これまでの積み重ねも含めて、よくできています。また、話し合いの際、人の意見を聞き、自分の考えを深める意識も高くなっています。

授業

国語は大切だ、役に立つという意識は80%以上ですが、根拠を明確にして書く等、全体的に全国値を下回る傾向にあります。数学は授業がよくわかると答える割合が高く、公式などのわけを理解する等、各項目で全国値を上回る傾向にあります。また、国語・数学ともに、あきらめずに問題を解いた割合は65%前後です。

道徳においては自分の考えを深め、話し合う活動が非常に充実しています。英語についても、これまでの授業の中で、英語で話す、書く活動によく取り組んできています。

新型コロナウイルス

休業期間中、勉強について不安を抱えていた割合は60%程度で、計画的・規則的な生活を送っていた割合は半数を割り、全国値をやや下回っています。

3 今後の取組み

教科に関する結果から、国語・数学ともに、平均点は全国値を上回る良好な結果となり、特に数学については、すべての設問について全国値を上回り、大きく上回っているものも多く、基礎基本とそれらを活用する力がしっかりと身に付いています。

国語については、文章を読み取り、自分の考えを表現すること等、今後の課題とすべきことを認識し、苦手な分野の克服に努めるよう、結果を踏まえた授業改善を推進していくことを目指します。

また、国語・数学に限らずどの教科についても、授業全体をとおして特に記述式の問題等に対する苦手意識を払拭し、励ましながら、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢を身に付けることの大切さを伝えていきます。

生活環境・学習習慣などに関する結果から、基本的な生活習慣はおおむね身に付いていますが、朝食は一日の始まりであり、余裕をもって起床することで朝食時間を確保し、自身で用意するといった意識も必要だと考えます。

本校の生徒には落ち着きや優しさが感じられ、いいところはたくさんあると感じます。是非自分自身、また、自分の行いに自信を持ち、将来の可能性を信じて、日々の日常生活を充実させてもらいたいと期待します。

家庭での勉強時間は一定確保できていますが、ゲームに2時間以上費やす割合が高いことなども気になるところで、時間を大切に、優先順位をつけながら、部活動等との両立を図っていくことを目指していきましょう。

新型コロナウイルス感染症の影響で勉強に不安を抱えている人も多くいますが、学校としても子供たちの心身の健康状態に配慮し、気持ちに寄り添いながら悩みを解決していくことができると考えております。

オンライン授業やSUN ネット端末についても、学習活動に有効に役立てられるよう、教職員とともに活用の研究を進めてまいります。また、端末やスマートフォンの正しい使い方の習得、自制による家庭学習時間の確保等、ご家庭とともにすすめていかなければならないことも多く、今後とも学校とご家庭が手を携えて子供たちの健やかな育ちと学びを支えられるよう、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。